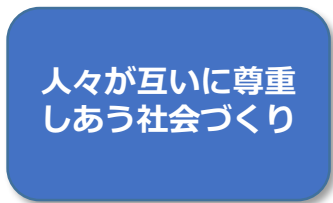


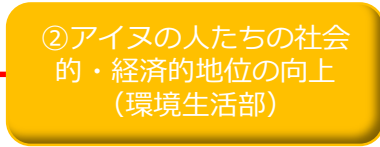
- 1 分野：生活・安心
- (5) 政策の柱：道民生活の安全の確保と安心の向上
- C 政策の方向性：人々が互いに尊重しあう社会づくり

【政策の方向性と施策の関係】



真に人権が
尊重される
社会の実現

アイヌの人たち
の社会的・経済
的地位の向上



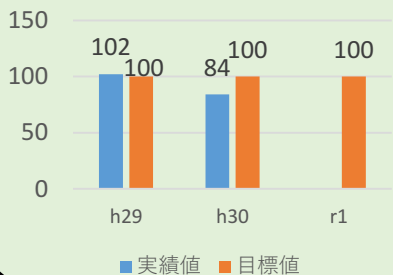
施策間連携

施策名	課題等	主な取組	総合評価
①人権が尊重される社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・女性に対する暴行や子どもへの虐待をはじめ近年はインターネットを利用した人権侵害が増加 ・人権問題を取り巻く状況の複雑化 ・国の「地域再犯防止推進モデル事業」を活用し、再犯防止対策の検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重の理解を深めるため、スポーツ組織と連携協力するなど啓発 ○「社会を明るくする運動」（主唱・法務省）の推進 ○犯罪をした者の更生の必要性についての意識啓発 ほか3つの取組	概ね順調に展開
②アイヌの人たちの社会的・経済的地位の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの教育や生活などにおいて、なお道民一般との格差が見られる ・アイヌの人たちへの生活向上施策を推進し、その社会的・経済的地位の向上を図る必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○道内に居住するアイヌの子弟で高等学校等に進学する能力を持ちながら経済的理由により修学が困難な者に対する支援 ○市町村が設置する生活館の整備及び運営に対する支援 ○（公社）北海道アイヌ協会が行うアイヌ工芸品の振興に対する支援 ほか2つの取組	効果的な取組を検討し引き続き推進

【総合計画の指標】

人権侵犯事件数（人口10万人あたり）の全国
平均値比較（暦年）（施策①）

(平均値比較)



基本的人権の尊重についての正しい理解と人権意識の普及・高揚を、粘り強く進めており人権侵犯事件数は、全国の平均値を下回る

【施策の詳細については、評価調査をご覧ください】